

三加茂中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①失敗を恐れず多様な事柄に挑戦し、基礎基本の学力を身につけた生徒の育成
- ②探究心に燃え、自ら学ぶ力を備えた心豊かな生徒の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 久保美智子 (2学年主任)	委員長 校長 住友久之 教頭 細川誠治 教務	1年担当 2年担当 3年担当
-----------------------------	---------------------------------	----------------------

校長 住友 久之

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

各校のHP閲覧や管理職による授業参観、教員からの報告等、様々な機会をとらえ、取組み状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○朝の学習課題にまじめに取り組むことができ、毎日5行以上の生活記録も継続できている。 ●書く作業の定着に欠け、語彙数が少なく、聞き取る力や伝える力が弱い。学力の二極化が見られる。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができている。 ・正しい言葉で文章を書いたり、正確に読みだりすることができる。 ・タブレット等の正しい使用と活用ができる。 ・既習事項と関連付けて他の学習や生活の場面に活用することができる。	・授業の「めあて」と「振り返り」を明確にし、何を学び・何がわかったのかを的確に理解させる。 ・鳴潮の書き写しノートやあゆみ指導等での国語力の定着とタブレット使用に関する指導を充実させる。 ・教員の指導力向上のために、相互に授業参観を行う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○方法や表現の仕方の例が明示されると、意欲的に取り組むことができている。 ●聞き取ったことを正しく理解してまとめたり、考えをわかりやすく伝えるための表現力や語彙力に欠ける。	・課題を解決するために、粘り強く取り組むことができる。 ・自分の考えを、自分の言葉でわかりやすく伝えることができる。 ・自他の意見を比較し、考えを深めることができる。	・あらゆる機会をとらえて、協働学習を行い、言語活動の充実と対話的で深い学びを実践できる工夫をする。 ・研究授業や相互授業参観を行い、タブレット活用法や話し合い活動の展開法などの指導力の向上に努める。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業にまじめに取り組むことができている。週1回の放課後学習にも、積極的に取り組もうとすることができている。 ●メディア依存傾向にあり、家庭学習の習慣が身に付いていない。	・失敗を恐れず主体的・積極的に多様な活動に取り組むことができる。 ・目標に向かって努力することに、喜びや楽しさを感じることができる。 ・PDCAサイクルによる学習プランの実行で学力を伸ばすことができる。	・週1回CSと連携して放課後学習を実施し、基礎基本の定着を図る。 ・「学習の手引き」を活用し、効果的な学習方法を探らせる。 ・家庭学習の日を設け、読書の推進を図る。			

令和4年度 学力向上ロードマップ

